

第2学年〇組 英語科学習指導案

指導者

- 1 単元 With Love and With Joy ~ マザー・テレサの奉仕活動 ~
- 2 指導観

学習指導要領には、外国語科の目標として「英語を読むことに慣れ親しみ、初歩的な英語を読んで書き手の意向などを理解できるようにする。」ことをあげている。本単元は読み物教材で、まとまりのある文章を読み概要や要点を理解することをねらいとし、ノーベル平和賞受賞者であるマザー・テレサの献身的な奉仕活動を紹介するものである。豊かな社会に育った今の子どもたちは、日本以外の世界の色々な地域で多くの人々が貧困に苦しみ、生きていくための最低限の生活ができないでいるという事実を実感することは難しいことだろう。しかし、彼女のおこないも、彼女が世界に訴えたことも、決して私たちに無縁なことではなく、世界が抱える大きな課題として世界中のみんなが考えなければいけない問題だということを生徒たちに理解させる（知識的側面）ができる題材になっている。また、そうした現状を少しでも改善するために、日本にいる私たちにできることは何かを考えさせること（価値的・態度的面）ができる有意義な単元である。

本学級は、男子18名、女子19名で明るく、元気のいいクラスである。コミュニケーション活動は男女とも意欲的に取り組み、グループ活動をさせるとお互いに協力し積極的に行う。しかし、2年生になり英語を苦手とする生徒が増え、書く活動になると手が止まる生徒が増えてきた。英作文をさせると単語を覚えていないため英作文ができず、できても簡単な表現でとどめる傾向にある。机間指導をして援助すると取り組むが、自分で調べて書いたり、質問したり、積極的に学習しようという意欲が乏しい生徒が多い。また、日頃の学習の中で相手の発表や意見を真剣に聞くことができなったり、強い口調で攻撃したりするなど聞くマナーに欠ける生徒がいる。

指導にあたっては、授業の始めに簡単な英語の質問に答えさせ、英語学習の雰囲気を作る。言語材料として新出事項はないので、新出単語の発音練習を行った後、本文の内容理解をする。内容理解は既習文型を確認しながら行い、セクション毎に日本語で内容に関する質問をしてきちんと理解しているか確認する。その後、表現活動として音読練習を行う。その際に、書かれた内容が相手に伝わるような音読を心掛けさせる。3つのセクションを学習した後、まとめとして本文の要約を穴埋め問題のワークシートで行う。そして、マザー・テレサが伝えたかったメッセージ（知識的側面）を班で発表させ、その後、気持ちや相手に伝わるように2つのフレーズを音読させる。最後に、今後自分たちに出来る奉仕活動は何があるかを考えさせる（価値的・態度的側面）と同時に、マザー・テレサの生き方を通して、人類愛の大切さと国際貢献について考えさせたい。班で意見交換をさせることで、自分の意見を伝え、相手の意見を認め尊重する態度（価値的・態度的側面）を身につけさせたい。

3 目標

コミュニケーションへの関心・意欲・態度

人権の目標（技能的側面）

- ・ マザー・テレサについて関心をもち、自分の気持ちや考えを意欲的に発表することができる。

表現の能力

- ・ マザー・テレサの言葉や考えが相手に伝わるように音読することができる。

理解の能力

- ・ 本文の内容を正しく読み取ることができる。

言語や文化についての知識・理解

- ・ マザー・テレサの考え方や業績を理解できる。

人権の目標（価値的・態度的側面）

- ・ マザー・テレサの活動や生き方を通して、人類愛と国際貢献を考える。

人権の目標（知識的側面）

- ・ 人権を支援し、擁護するために活動しているマザー・テレサのことを理解する。

4 計画 4 時間

- 第1次 セクション1の内容理解と表現練習をさせる。 1時間
- 第2次 セクション2の内容理解と表現練習をさせる。 1時間
- 第3次 セクション3の内容理解と表現練習をさせる。 1時間
- 第4次 単元のまとめ 1時間 本時

5 本時 平成20年9月25日（木曜日） 第5校時 計画 第4次 2年〇組教室

（1）本時の指導観

本時は、単元のまとめである。まず、英語学習の雰囲気をつくるために既習文型を用いた簡単な英語の質問をする。次に、マザー・テレサについて個人で事前に調べたことを確認した後に、セクション1から3の振り返りをワークシートで行う。その後、マザー・テレサの2つのフレーズに込められた共通のメッセージを班で考え発表させる。そして気持ちを込めて2つのフレーズを音読させる。最後にまとめとして、学習後の感想と自分にできる奉仕活動を考えさせる。

（2）主眼

理解の能力

- ・ マザー・テレサが人々に伝えたメッセージを読み取る。

人権の目標（価値的・態度的側面）

- ・ マザー・テレサの活動や生き方を通し、人類愛や国際貢献を考えさせる。

（3）準備

教科書 マグネットシート（ねらい・ポイント・まとめ）

自己評価記録カード ファイル ワークシート

写真 画用紙 CDラジカセ

(4) 展開

学習活動・内容	資料 教具	教師の支援	評価 評価方法	配時
1 あいさつ		<ul style="list-style-type: none"> ・簡単な日常会話で英語学習の雰囲気を作る。(ペラペラポイント) 		5
2 前時の復習		<ul style="list-style-type: none"> ・特徴的な内容を発表させる。 		5
(1) マザーテレサについて事前に調べたことを確認する。		T1：一斉指導 T2：入り込み指導		
(2) 全セクションの内容をワークシートで振り返る。 ワークシートを記入する。 答え合わせをする。 CDを聞いて確認する。		<ul style="list-style-type: none"> ・机間指導する。 	理解の能力 書かれた内容を理解できている。 発言チェック, ワークシート分析	1.5
3 本日のめあてを確認する。 「マザー・テレサのメッセージを読みとって、英語で表現しよう。」		T1：一斉指導 T2：入り込み指導		
(1) 今日の目標を決める。		<ul style="list-style-type: none"> ・自己評価カードに記入させる。 		
(2) のフレーズの意味を再確認する。				
Always have a cheerful smile. Go to the poor with joy.				
2つのフレーズに込められた共通のメッセージを考え、班で話しあい発表する。		・班の人に分かりやすいように言葉を選ばせる。	価値的・態度的側面 技能的側面 班内の自他の意見を尊重してまとめることができる。 <発言チェック, ワークシート分析>	1.7
4 まとめ				7
・今後、自分に出来る奉仕活動について ・感想		・例を提示して考えられる活動を引き出す。	価値的・態度的側面 人類愛や国際貢献の態度をもつことができる。<ワークシート分析>	1
5 自己評価をする。				
6 あいさつ				